

- ◆企画名 コアラ☆ミュージアム～第5弾㊦・●・㊧×ボランティアセンター学生スタッフ～  
 日程 平成25年9月18日(水)～11月17日(日)  
 場所 関西大学総合図書館4カ所  
 参加者数 24名(ピア・サポーター6名、研修生10名、ボランティアセンター学生スタッフ8名)

## 目的

- ・他の課外活動団体の活動公開の場の提供
- ・図書館に来た学生の興味・関心を広げる
- ・図書館に自習スペース以外の空間づくり

## 内容

- 企画概要  
図書館内にボランティアセンター学生スタッフの活動写真を展示し、学生にボランティア活動の様子や楽しさを伝える。
- テーマ  
ボランティアで広げよう笑顔の輪～スマイリング～
- 展示場所  
①1階エントランスカウンター付近 ②1階エントランスホール(展示室付近)  
③2階開架フロア ④階段(1～2階)
- 展示方法  
写真を画用紙に貼り付け、写真の横に説明文などの吹き出しを設置し、壁面に貼付した。
- 広報  
①インフォメーションシステムのお知らせで告知した。  
②図書館内にポスターを掲示した。(計2ヶ所)  
③図書館外にポスターを掲示した。(計6ヶ所)  
④授業内宣伝を行った。
- アンケート  
アンケート用紙および回収箱を1階エントランスカウンター付近および2階開架フロアに設置した。



## 感想

展示期間中、写真の前で足を止める学生の姿が多く見受けられた。来館した学生の図書館への興味・関心を広げるというコアラの目的とボランティア活動参加への意欲促進や興味を持ってもらうきっかけを提供したいという共催団体側の目的は共に達成できたと感じている。

## 改善点

- ・今回は公平を期するため連携先を募集し企画を行った。応募数は2件と少なく、募集時期がテスト期間と重なったことなどが原因ではないかと考える。
- ・今回もアンケートの回答率が低く、次回以降も引き続き方法・内容について検討する。  
(1. ウェブ上でアンケート回答できるサイトにつなげるQRコードをアンケートやポスターに貼付する 2. アンケートではなく完全自由記述式のノートを設置する 3. 回答者に景品をプレゼントする など)
- ・前回(コアラ☆ミュージアム第4弾)からの反省を活かして、展示方法を改善したため作品落下回数が減少した。以後パネルの作品をどのように展示するかは考察の必要あり。
- ・共催企画であることを知ってもらえるように、飾りつけを工夫する。  
(館内にポスターを多く貼る、コアラと連携団体で集合写真を撮り館内に飾る、など)